



## 雪の房総紀行

2004年3月29日掲載

春になったので、せっかくだから嫁さんとドライブしようと思った。房総半島へのドライブである。

しかし、せっかく休みを取ったのにさんざんなドライブになってしまったのだ。

京葉道路、東関東自動車道を経由して、マザー牧場に行こうとした。途中のPAで休憩をしていたら、何と雪が降ってきたのだ。

マザー牧場に近づくにつれ、やむどころか本格的な雪に。マザー牧場は山の上にあるので、最悪な状態を想像した。

山を登ると、想像通りの結果である。道にはうっすらと雪が積もっていた。

そんな中、マザー牧場に行こうというのが間違っているのかもしれない。しかし、目標があるのだ。

それは、嫁さんが子羊を抱きたいということ。この時期は、羊の出産ラッシュなのだ。

マザー牧場の駐車場に入る。予想通りのがら空き。入場券を買って中に入っても、客はほとんどいない。



敷地内も雪が積もり、一面の銀世界。これでは屋外のショーが中止になるのも仕方ない。

唯一やっていたのが、アグロドームの中でやるショー。でも、ステージのガラスを隔てて外の動物を見るので、出演者がかわいそうになってくる。

何しろ寒い。せっかく咲いた菜の花も、雪が積もって元気なくしおれているのだ。

こうなったら、室内で寒さをしのげるどころ

を探すしかない。そこで温室でのイチゴ狩りをすることにした。

イチゴ狩りは制限時間30分。それでも、寒さと雪がしのげることができるのだ。

制限時間がくると、やむなく外へ。再び、寒い牧場を歩かなければならない。

あまりに寒く、しかも雪が降りしきるので、まさに遭難しそうな状態。急いで子羊のいる小屋に向かう。

羊小屋に到着。しかし、雪で客が少ないためか、子羊を抱くイベントは中止になった。

仕方なく、子羊を眺めて終了。ま、近くに寄ってきた子羊は触れることができたが

いつまでも雪が降るので、食堂でジンギスカンを食する。羊が抱けないのなら、食べてしまおうという魂胆である。

食堂は室内とはいえ、客は我々を含めて3グループ。雪のため、昼時なのに閑散としている。

ジンギスカンで満腹になったころ、雪がやんできた。帰ろうというときに雪がやむなんて、何ともついていない。

入口近くの事務所で、アクアライン近くの温泉の割引券を購入。すっかり冷え切った体を温めるには最適だ。

麓に降りると雪は積もっておらず、ほどなく温泉へ。東京湾を望む、巨大な温泉ホテルである。

駐車場は、何と5時間も無料！あまりに長時間無料で駐車できるので、2回も温泉に入ってしまった。

温泉は巨大な流れるプールのようになっている部分と、大きな浴槽、そして露天の3つの部分からなる。そして、大きな浴槽と露天からは、アクアラインが見えるのだ。

さらに、露天風呂では羽田に着陸する飛行機を見ることができる。着陸態勢に入っているので、目を凝らせば窓の明かりも確認できるのだ。

温泉で体を温め、アクアラインで海ほたるへ。海ほたるで夕食を食べ、帰宅する。

次回こそは、雪が降らない日にマザー牧場へ行きたい。間違いなくそう思った。

[\[トップページ\]](#)